

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表【グリーンスクール村岡】

(2024年3月)

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			69.14㎡のスペースを確保しています。さらに、ウッドデッキテラスがあります
	②	職員の配置数は適切であるか	○			配置基準を十分に満たした人員を配置しています
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			スロープの設置やバリアフリー化するなど、環境に配慮しています
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			職員によって計画、実行、振り返り等を行い、業務改善に努めています
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等により、アンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			毎年度ごとに運営に関するアンケート調査を実施して、保護者からの評価や意向の把握に努め、業務改善を図っています
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			弊法人のホームページにて掲載しています
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		衛生委員会による外部評価や職員のストレスチェックなどを実施し、業務環境等の改善を図っています
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			年間の研修会スケジュールを計画して実施をしています。また、ガイドラインに沿ってチームで計画を立案し、研修の質の向上に努め、職員の資質向上を図っています
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			保護者の方との面談を実施して、ニーズや障害の特性、心身の状況、環境等統合的、多面的にアセスメントを行い作成しています
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			面接やモニタリング等で、事業所において標準化されたアセスメント表を使用して適応行動の状況を図っています
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			弊法人のグラウンドや多目的施設を使用しての活動や、他の社会福祉事業との交流を図るため、スクールランチをはじめ等、チームで多彩な活動プログラムの立案に努めています
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			弊法人や理事長の畑で、作物の収穫体験やハロウィン活動を行うなど、行事や四季折々の自然に触れる活動を多く取り入れています。また、夏休み期間は、弊法人のグラウンドにて他事業所とプール活動を実施し、交流の機会を設定しています
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			休日、長期休暇時には、活動時間やプログラムに応じて、昼食時の食事面やや排泄面、集団活動や創作活動などにおいて、細やかな課題の設定に努めています
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			子どもの状況に応じて、生活の自立等に向けた個別活動と、集団の中での社会性の習得等に向けた活動を適宜に組み合わせ作成しています

	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			支援開始前に前回までの状況も含めて打合わせを行い、職員間で、その日の役割や職員配置、支援内容の確認・共有を図っています
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			支援終了後は、その日の振り返りを行い、次回利用時の対応等を話し合い、統一した支援に努めています
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			児童発達管理責任者が、日々、業務日誌に記録をしています。また、ミーティングや会議にて必要な情報を全職員で共有し、支援の検証・改善に努めています
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			6か月ごとにモニタリングを実施しています。また、保護者の方からのモニタリングやニーズの確認、相談支援専門員とも連携を図り、計画の見直しを行っています。急遽、計画の見直しや追加が必要と判断した場合には、その都度対応をしています
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	○			季節性のある創作活動や弊法人の社会福祉事業と連携して、スクールランチを実施するなど、基本活動を複数組み合わせ、個々の日常生活の充実と自立支援に努めています
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			子どものことを良く理解した職員が参加して、職員間で情報を共有しています
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			児童発達支援管理責任者を中心に連絡調整し、状況に応じて迅速な対応や情報の共有に努めています
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○			看護師が常駐していないが、緊急時には弊法人看護師が対応をします。また、主治医との連絡体制も整えています
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			必要に応じて、児童発達支援事業所への訪問や相談支援専門員より電話にて情報を伺い等、子どもの状況把握に努めています
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			弊法人の就労継続支援B型事業所の体験会に、弊法人の放課後デイサービスを利用する児童が参加する際、情報の提供をしています。また、必要に応じて、随時対応をする予定です。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			必要に応じて、他の専門機関と意見交換や情報の共有、提供を行う等の連携を図っています。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○			障がいのない児童と接する機会となる公共の公園等での外出活動を設けて、社会の中でルールを学べるように努めています。
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			市が主催する事業所連絡会(リモート)等に積極的に参加し、情報の共有や意見交換をしています
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			日頃より、電話や連絡帳、送迎時に直接伝えていきます。また不明な点については、保護者の方から教えていただきながら共通理解を深めています

	②⑨	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○		保護者の方からのご相談に個々に応じて支援しています
保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		利用契約時に必ず説明を行い、透明性を図っています。また、保護者の方からの個別の質問にも随時対応し、丁寧な説明を心掛けています
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		児童発達支援管理責任者が中心となり、保護者の方から電話や来所でのご相談をお受けしています
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	すでに保護者間には、グループができています。今後、必要に応じて検討する準備を整えています
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		子どもや保護者の方からの苦情については、できる限り迅速かつ適切に対応するように心掛けています
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		毎月、活動予定表に加えて、ブログ発信や年4回の広報誌「グリーンノート」や、各事業所ごとの広報誌「グリーンノート・ミニ」を発行するなど情報発信に力を入れています
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	○		個人情報取扱規定に基づいて、取扱いに十分に注意して管理をしています
	③⑯	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		マカトンサインや絵カード、必要に応じて筆談等を使用して、個々に合わせた意思疎通や情報伝達に努めています
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	保育実習やボランティアの受け入れを行う等、地域に開かれた事業運営を図っています
	非常時等の対応	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○
③⑲		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		非常災害時の対応を迅速にできるように、火災、地震を想定した訓練を年2回実施しています。
④①		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		虐待防止委員会、専任の虐待防止担当者を設置して、委員会の開催や全職員で研修会を行っています。
④②		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		身体拘束を実施した前例はありません。今後、やむを得ず行う際には、規定に添って子どもや保護者の方への説明・記録等を十分に行います。また、身体拘束等の適正化のための研修会を全職員で実施したり、身体拘束等適正化委員会を中心として、指針を基に組織的に適正化を図っていきます。
④③		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		保護者の方に確認をとり、指示に基づき十分に注意して対応しています
	④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		ヒヤリハット及び事故報告書をまとめ、情報を共有し、対策を話し合い再発防止に努めています